

2020.03.27

InterRisk Thai Report <2020 No.04>

タイにおける新型コロナウイルスへの対応（第3報）

【要旨】

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として3月26日に非常事態宣言が発令されました。
- 2020年3月26日時点のタイにおける新型コロナウイルス感染者数は1,045名です。
- 感染が確認された後の対応は病院によって異なるため、事前に確認することをお勧めします。

1. 非常事態宣言発令

タイ政府は、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止を目的に、2020年3月26日から4月30日まで約1か月間の非常事態宣言を全土に発令しました。この非常事態宣言により、政府は新型コロナウイルスを制御するためのより厳しい措置を課すことができます。3月26日の時点では外出禁止は発令されていませんが、今後の状況によっては規制される可能性もあると考えられます。3月26日時点で公表されている措置は以下の通りです*1。

【禁止】

- ・外国人の入国（外交官、労働許可証を保持する人などを除く。ただし、タイ人を含めタイに入国する場合はいずれも渡航の72時間以内に医療機関で発行された医療保証書（Fit to Fly Health Certificate）の取得が条件となる。）
- ・バンコクなど各県で立ち入りが禁止されている施設、場所への立ち入り
※バンコクでは以下に示す施設が一時閉鎖されており、チョンブリー県、ラヨー県、パトゥムタニ県、アユタヤ県などの各県でも同様の措置が取られています。
（一時閉鎖、立ち入りが禁止されている施設）
レストラン、ショッピングモール、市場、美容室・理髪店、スケート場、遊園地、ボーリング場、ゲームセンター、ゴルフ場・ゴルフ練習場、プール、会議場・展示場、教育施設、フィットネス、スパ、マッサージ店、個室付浴場、興行場（映画館、劇場など）、ボクシング場、競技場、競馬場など
- ・集会
- ・新型コロナウイルスに関する虚偽の情報の流布

【許可】

- ・レストラン、食品販売業者による持ち帰りサービス（宅配を含む）、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、病院、薬局、給油所、銀行、警備会社、工場などの営業、操業

【推奨】

- ・特に70歳以上の高齢者、糖尿病等の持病を有している者、5歳未満の乳児、幼児は不要不急の外出を控えること。
- ・県を跨ぐ移動

※タイ国軍がバンコクを含む各地に検問所を設け、県境を通過する理由や新型コロナウイルス症状の有無などが確認されています。

2. タイの新型コロナウイルス感染状況

タイ疾病管理局（Department of Disease Control）によれば、3月26日21:00時点で確認されたタイにおける新型コロナウイルス感染者は1,045名、重症者12名、死亡者4名、97名は治療を受けて回復、退院しています*2。

新型コロナウイルスはバンコクだけでなくタイ全土に拡大しており（下図参照）、政府は国民に対し故郷への帰省を自粛するよう呼び掛けています。また、タイ保健省（The Ministry of Public Health）は、全ての国民、住民に対し可能な限り自宅に留まり、他人と1m以上の距離を取ることを推奨しています。

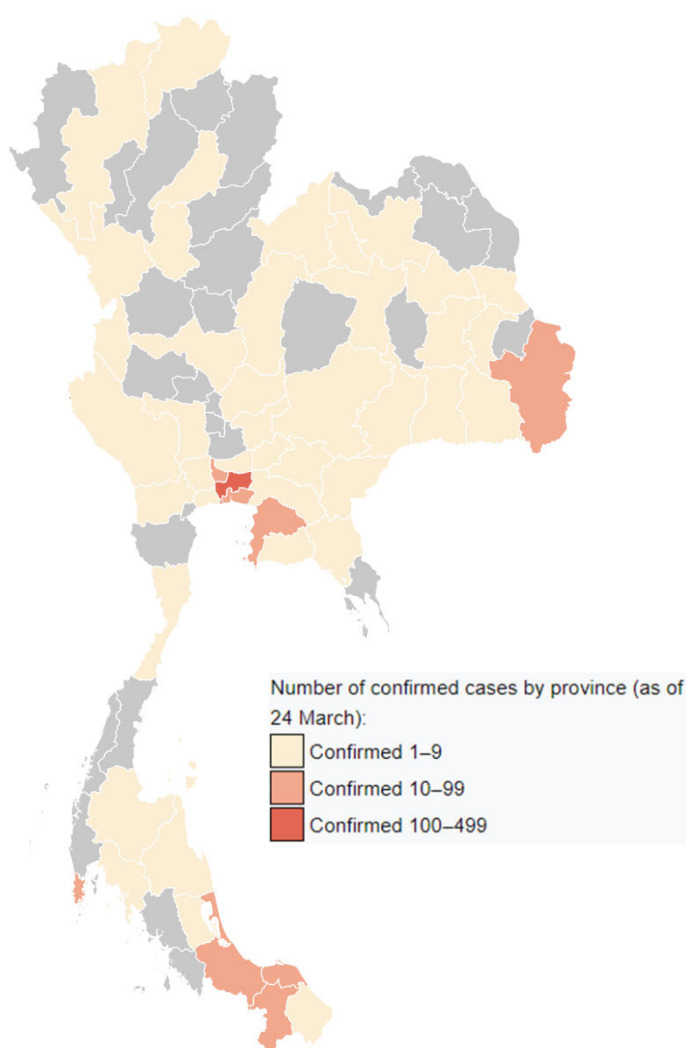


図1：新型コロナウイルス県別感染者数*3

3. 新型コロナウイルス検査

現在、最も一般的な新型コロナウイルスの検査方法はウイルスの遺伝物質を検査するリアルタイムPCR法ですが、PCR検査の必要性についてサミティベート病院は以下の見解を示しています。

(引用始め)

「新型コロナウイルス感染症は、感染していても、ウイルスが鼻やのどにあまり出てきていないことによって、検体のとり方の影響が大きく、検査結果が陰性になってしまうことが多いと言われています。逆に、本当は感染していない人に陽性反応が出ることもあります。症状がある人で何度も検査するうちに数回目で陽性となったという報告もまれではありません。そういった理由で、PCR検査は本当に病気になった人の診断と治療経過の把握のために優先的に用いられるべきです。また、感染した人がどの程度陽性になるのか、濃厚接触した人がどの程度感染するのか、といった医学的調査のためにも用いられます。それ以外の個人的な検査では、PCR検査が陰性ということをもって感染していないという証明にはなりませんし、何ら症状がないのに検査をする必要性は全くと言ってよいほどありません。」

(引用終わり)

一方、同病院では「学校・企業を含め、やむを得ない状況から診断書を要求されている方」に対しPCR検査を提供しているとのこと。詳細は同病院のウェブサイトをご参照ください。

(<https://www.samitivejhospitals.com/jp/2020/03/17/>)

また、感染が確定した場合、タイの国立病院に転院する措置が取られていましたが、感染者数が急増したことで保健省が運営する病院の病床（陰圧隔離室）が枯渇しているため、現在は一般病院での陰圧隔離室も利用しての管理に変更されているとのこと*4。サミティベート病院のウェブサイトによれば、感染が確認された場合でも「まったく言葉が通じないところに連れていかれるという事態は、少なくとも当院では起きていませんし、そうならないように準備中」とされています*4。

他の主な病院へのヒアリング調査によれば、バンコク病院はPCR検査および感染確定後の治療ともに可能、BNH病院はPCR検査のみ可能、バムルンラード病院はPCR検査は可能（治療の可否は確認できず）とのことでした。なお、これらの対応は今後変更される可能性があります。

多くの病院では新型コロナウイルスの症状（37.5℃以上の発熱、咳、鼻水、呼吸困難など）がある人、感染が拡大している国・地域への渡航歴がある人および濃厚接触者に対してPCR検査が実施されていますが、一部報道によれば以下の病院では無症状でも同検査の実施が可能とのこと。詳細は各病院へご確認ください。

表1：無症状でも新型コロナウイルスの検査が可能な病院と検査料金*5

病院名	料金
Ramkhamhaeng Hospital (drive thru service)	6,500 baht
Bangkok Christian Hospital	around 8,200-10,000 baht
Phyathai 2 Hospital	6,500 baht
Paolo Phaholyothin Hospital	5,000 baht for Thais, 7,000 baht for foreigners
PatRangsit Hospital	8,000 baht
Praram 9 Hospital	around 8,000-10,000 baht
Mongkutwattana Hospital	6,000 baht
Bumrungrad International Hospital	10,500 baht

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd. Nareerat Moottatarn

参照

*1: <https://www.bangkokpost.com/thailand/general/1886395/all-doors-closed-to-foreigners>

*2: <https://thestandard.co/report-covid-19-107-new-case-total-934/>

*3: ddc.moph.go.th/viralpneumonia/eng

*4: <https://www.samitivejhospitals.com/jp/2020/03/17/>

*5: <https://www.khaosodenglish.com/news/crimecourtscalamity/2020/03/16/some-hospitals-apply-farang-pricing-for-coronavirus-testing/>

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2020